

毎週(水・土曜日)発行 (昭和34年6月20日)
(第三回新規登録認可)

2005年(平成17年)3月19日 第3,374号 (2)

出雲土建謹（出雲市神門町、石飛裕司社長）と関連会社の出雲カーボン㈱が、03年度から島大医学部と共同で進めていた調湿木炭「炭八」がアトピー性皮膚炎など環境抗原アレルギーに及ぼす効果への研究で有効性を実証。7月16日から横浜市で開かれる日本皮膚アレルギー学会の合同学術大会で、島大医学部の森田栄伸教授（皮膚科）が発表する。

研究の過程で炭八は、効果などの声を受け、アトピー患者6人の自毛に炭八を敷設し、その影響を調べた。ダニやカビなど環境抗原は、アトピー性皮膚炎の重要な憎悪因子とされるが、炭八の調湿効果によって生育を阻害。ダニ、カビ特異IgE値（血清に含まれる抗体値）、血中住虫（成虫の家）シリーズ

床下だけでなく天井に敷設した場合も大きな効果があることが分かり、同社では床下用より粒度の細かい天井用の炭八を開発（特許出願中）。分譲発（特許出願中）。分譲

島大医と共同研究で実証

研究は、炭八を敷設し 調査も同医学部小児科と
たモニターから寄せられ 進めており、咳が止まる
た▽アトピー性皮膚炎が など症状の緩和傾向が表
改善▽小児気管支ぜん息 れている。

木炭
湿炭八

アトピー性 皮膚炎改善

10カ月の観察でアトピー・清総IgE値が低下し、患者6人中5人に皮膚症状の大福な改善が見られたため、「調湿木炭の敷設が有効」と示した(詳細データは学会で提示)。

天井用「炭八」敷設の
様子=出雲市内

7月、学会発表へ

も次々に完成、入居者が
ら好評を得ている。

炭の家は、共同研究で
得られた調湿やカビ・ダ
ニ対策はもちろん、炭が
持つ吸音・遮音効果、断
熱・蓄熱効果等に優れた
となり、04年度受注実績
は約10億円。現在3棟を
建築中で、05年度受注高
は12億円を予定している。
なお、同社では4月か
ら6月までに既存住宅や

ローコスト・健康住宅を表現。天井への敷設により、従来の天井施工費より50%程度高くなるが、トータルコストで優位になるとしている。

同社設計・施工の賃貸住宅「カサナカルボン」(3LDK12戸)、「ソレイユ塩治」(3LDK24戸)、「ショコラ白枝」(3戸)の販売実績。

問い合わせは出雲土建事務所などのリフォームを行った施主等を対象に、八天井のモニターを募集している。天井用炭火は無料(10坪程度)で提供し、同社が設計等のアドバイスをする。